



つばさ

唐津市立北波多中学校

— 令和7年12月1日 —
第18号 文責 校長 渡辺 景輔

〒847-1201 唐津市北波多徳須恵 303
Tel 0955-64-2009

【学校教育目標】

「**自他を大切にし 互いを認め合い 共に高め合う生徒の育成**」

◇ **屋内退避訓練・垂直避難訓練を実施しました** ◇

11月19日(水)の昼休み終了時に原子力防災屋内退避訓練と垂直避難訓練を実施しました。

【原子力防災屋内退避訓練】(概要)

ご存じの通り、唐津地区には玄海原子力発電所があり、北波多地区も原発からおおむね30km圏内にあるため、原子力災害に備えて重点的に避難計画などの準備をする区域となっています。原子力災害は、風水害、地震、火災などとは違い、目に見えない五感に感じる事ができない災害です。万が一、原子力発電所で事故が起きた場合、周囲に放射性物質が放出される恐れがあります。外にいるときに屋内退避の指示が出たときは、自宅や近くの建物に入り、外の空気と触れないようにし、退避した後は、着替え、手洗い、うがい、洗顔などをすることが必要となります。

【垂直避難訓練】(概要)

北波多中学校は、河川沿いに学校があるため、水害に備えた訓練が必要となります。そこで、水害で下校に危険が伴ったり、河川が氾濫した場合などは、校舎3階へ垂直避難し、安全を確保することとなります。

今回、昼休み終了後に2つの訓練を実施しましたが、子どもたちは静かに落ち着いて行動することができていました。いざというとき人間は落ち着いて行動することが困難になります。だからこそ、日頃から繰り返し訓練を行い、自然と行動できるように「体で覚える」ことが大切だと思っています。

◇ **交通安全・防犯教室を行いました** ◇

11月20日(木)には、唐津警察署から2名の講師の方々に来ていただき、交通安全・防犯についての話を聞きました。

初めに交通課の方から、実際の事故の映像やスライドをもとに特に自転車についての話がありました。自転車は車両の仲間であり、歩行者に対して危害を加える恐れがある乗り物だと自覚すること。また、事故に合わない、事故を起こさないためには交通ルールを守ることが大切



罰金制度（一部）

次に生活安全課の方から、情報モラル講話をしていただきました。特に SNS の危険性について、軽率な行動が大きな問題へと発展すること。「闇バイト」は、犯罪実行犯の募集であることなど、具体的な例を交えて話していただきました。最後は、「モラルを持って、使い方には十分気をつけて、安全で安心なインターネットライフを！」と締めくくられました。

◇ キャリア教育講話を行いました ◇

講師： 様

2013 年一橋大学卒業。東京の不動産会社に就職後、2014 年、佐賀市三瀬村へ地域おこし協力隊として移住。三瀬村にて、地域づくりや教育の仕事に従事。2021 年より、一財）地域・教育魅力化プラットフォームに参画し、2022 年には同財団佐賀事務所を開設。その後、合同会社 NOWA を起業し、「はみ出す」人や組織が増えていくといいなという思いで、対話の場づくりによって共創と協働の輪を広げる活動に取り組んでいる。

◆ 表彰関係 おめでとう! ◆

(県特選) 3年

(県入選) 1年

(地区入選) 3年

2 年

1 年

佐賀県中学生新人ソフトテニス選手権大会 兼 九州選抜インドア選考会 第3位

第10回全日本中学女子軟式野球大会出場（京都府）

